4-143-378-**03**(1)

デジタルスチルカメラ
取扱説明書
DSC-W190

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠**警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

Cyber-shot

⚠警告 安全のために

50～52ページも あわせてお読みください。

誤った使いかたをしたときに生じる**感電や傷害など人への危害**、また**火災などの財産への損害**を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。

「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1年に1度は、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、電源コードに傷がないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

カメラやACアダプター、バッテリーチャージャーなどの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐにソニーの相談窓口へご相談ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら
煙が出たら

➜

❶ **電源を切る**
❷ **電池をはずす**
❸ **ソニーの相談窓口に連絡する**

裏表紙に**ソニーの相談窓口の連絡先**があります。

⚠危険 万一、電池の液漏れが起きたら

❶ **すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂のおそれがあります。**
❷ **液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。**
❸ **液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。**
❹ **液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。**

警告表示の意味

この取扱説明書や製品では、次のような表示をしています。

⚠危険

この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

⚠警告

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

⚠注意

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、
けがや財産に損害を与えることがあります。

注意を促す記号

火災　感電

行為を禁止する記号

禁止　分解禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

プラグをコンセントから抜く　指示

電池について

安全のためにの文中の「電池」とは、「バッテリーパック」も含みます。

お使いになる前に必ずお読みください

表示言語について

本機では、日本語のみに対応しています。その他の言語には変更できません。

内蔵メモリーおよび"メモリースティック デュオ"のバックアップについて

アクセスランプ点灯中に電源を切ったり、バッテリーや"メモリースティック デュオ"を取り出したりすると、内蔵メモリーのデータや"メモリースティック デュオ"のデータが壊れることがあります。データ保護のため必ずバックアップをお取りください。

録画・再生に際してのご注意

- 必ず事前にためし撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。
- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。「使用上のご注意」もご覧ください(49ページ)。
- 本機をぬらさないでください。水滴が内部に入り込むと、故障の原因になるだけでなく、修理できなくなることもあります。
- 日光および強い光に向けて本機を使用しないでください。故障の原因になります。
- 強力な電波を出すところや放射線のある場所で使わないでください。正しく撮影・再生ができないことがあります。
- 砂やほこりの舞っている場所でのご使用は故障の原因になります。
- 結露が起きたときは、結露を取り除いてからお使いください(49ページ)。
- 本機に振動や衝撃を与えないでください。誤作動したり、画像が記録できなくなるだけでなく、記録メディアが使えなくなったり、撮影済みの画像データが壊れることがあります。
- フラッシュの表面の汚れは取り除いてください。発光による熱でフラッシュ表面の汚れが変色したり、貼り付いたりすると、充分に発光できない場合があります。

液晶画面およびレンズについてのご注意

- 液晶画面は有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。
- バッテリー残量がなくなると、レンズが出たまま動きが止まることがあります。充電されたバッテリーを取り付けて、再度電源を入れてください。

本機の温度について

本機を連続して使用した場合、本体やバッテリーが温かくなることがありますが、故障ではありません。

温度保護機能について

本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために自動的に電源が切れることがあります。この場合は、電源が切れる前に画面にメッセージが表示されます。

画像の互換性について

- 本機は、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格"Design rule for Camera File system"(DCF)に対応しています。
- 本機で撮影した画像の他機での再生、他機で撮影/修正した画像の本機での再生は保証いたしません。

著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

撮影内容の補償はできません

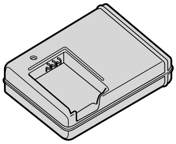
万一、カメラや記録メディアなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。

目次

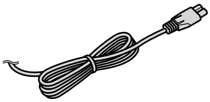
付属品を確認する

万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。

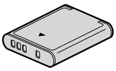
• バッテリーチャージャー BC-CSKA（1）



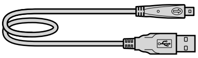
• 電源コード（1）



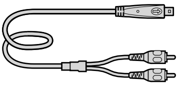
• リチャージャブルバッテリーパック NP-BK1（1）



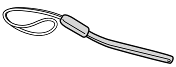
• 専用USBケーブル（1）



• 専用A/Vケーブル（1）



• リストストラップ（1）

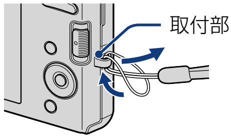


• CD-ROM（1）
  — サイバーショットアプリケーションソフトウェア
  —「サイバーショットハンドブック」
  —「サイバーショットステップアップガイド」
• 取扱説明書（本書）（1）
• 保証書（1）

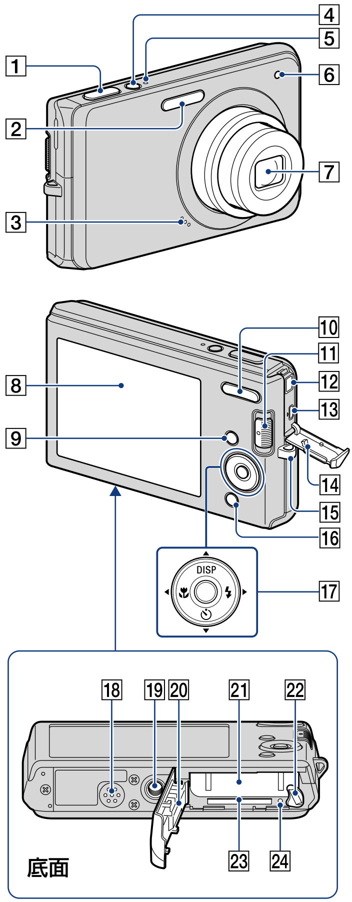
リストストラップを使う

本機にはあらかじめリストストラップが付いています。

落下防止のため、ストラップを取り付け、手を通してご使用ください。



各部の名前を確認する



1 シャッターボタン

2 フラッシュ

3 マイク

4 ON/OFF（電源）ボタン（オン オフ）

5 ON/OFF（電源）ランプ（オン オフ）

6 セルフタイマーランプ

7 レンズ

8 液晶画面

9 MENUボタン（メニュー）

10 撮影時：W/T（ズーム）ボタン
再生時：（再生ズーム）ボタン/
（インデックス）ボタン

11 モードスイッチ

12 DC IN端子
- 本機をACアダプター AC-LS5K（別売）に接続してもバッテリーを充電できません。バッテリーの充電には、バッテリーチャージャーをお使いください。

13 （USB）・A/V OUT端子

14 端子カバー

15 リストストラップ取り付け部

16 撮影時：（スマイル）ボタン
再生時：（削除）ボタン

17 コントロールボタン
メニューオン時：▲/▼/◀/▶/●
メニューオフ時：DISP/ / /

18 スピーカー

19 三脚用ネジ穴
- ネジの長さが5.5 mm未満の三脚を使う。5.5 mm以上の三脚ではしっかり固定できず、本機を傷つけることがあります。

20 バッテリー／“メモリースティック デュオ”カバー

21 バッテリー挿入口

22 取りはずしつまみ

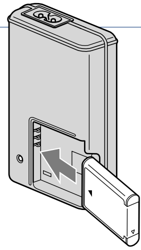
23 “メモリースティック デュオ”挿入口

24 アクセスランプ

バッテリーを充電する

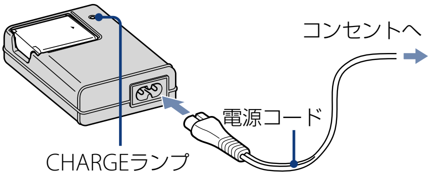
1 バッテリーをバッテリーチャージャーに取り付ける。

- 残量があるバッテリーも充電できる。



2 電源コードを繋ぎ、壁のコンセントに取り付ける。

- CHARGEランプ消灯後、そのまま約1時間充電を続けると、若干長く使える（満充電）。



3 充電が終わったら、バッテリーとバッテリーチャージャーを取りはずす。

充電にかかる時間

満充電	実用充電
約300分	約240分

ご注意

- バッテリー（付属）を使い切ってから、温度25 ℃の環境下で充電したときの時間です。使用状況や環境によっては、長くかかります。
- バッテリーチャージャーを取り付けるときは、お手近なコンセントをお使いください。
- 充電が完了してCHARGEランプが消えても電源からは遮断されません。使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- 充電が終わったら、バッテリーチャージャーをコンセントから抜き、バッテリーをバッテリーチャージャーから取り出してください。
- 必ずソニー製純正バッテリー、バッテリーチャージャーをお使いください。

準備する

バッテリーの使用時間と撮影/再生枚数

	使用時間	枚数
静止画撮影	約145分	約290枚
静止画再生	約240分	約4800枚

測定方法はCIPA規格による。
（CIPA：カメラ映像機器工業会、Camera & Imaging Products Association）

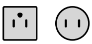
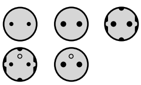
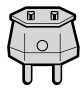
ご注意

- 使用時間/枚数はカメラの設定によって異なる場合があります。

海外でも使えます

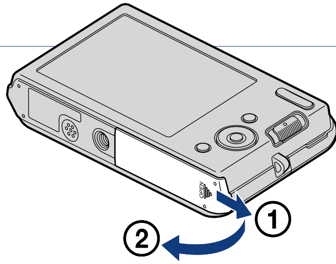
バッテリーチャージャー（付属）とACアダプター AC-LS5K（別売）は全世界で使用できます（AC100V ～ 240V、50Hz/60Hz）。ただし、地域によっては壁のコンセントの形状が異なるため、変換プラグアダプターが必要です。お出かけ前に、旅行代理店などで訪問先のコンセントの形状を確認し、必要に応じてご用意ください。

電子式変圧器（トラベルコンバーター）は使用できません。故障の原因になります。

コンセント形状例	地域	変換プラグアダプター
	主に北米	不要
	主にヨーロッパ	必要 

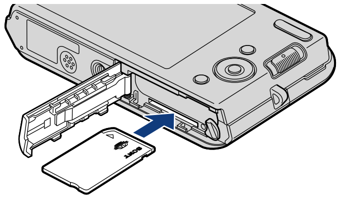
バッテリー/“メモリースティック デュオ”(別売)を入れる

1　カバーを開ける。



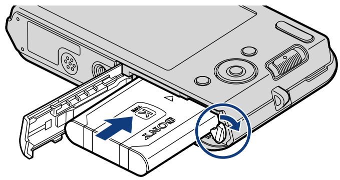
2　“メモリースティック デュオ”(別売)を入れる。

端子面をレンズ側に向けて、カチッというまで押し込む。

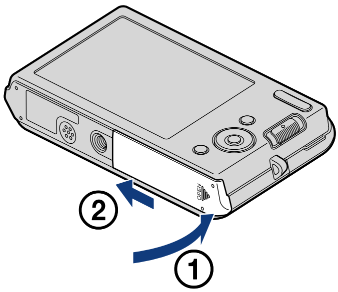


3　バッテリーを入れる。

バッテリーの端で取りはずしつまみを矢印の方向に押しながら入れる。

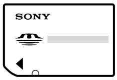


4　カバーを閉じる。



使用できる"メモリースティック"

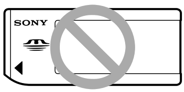
"メモリースティック デュオ"



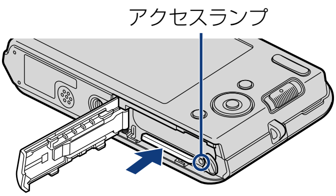
"メモリースティック PRO デュオ"、"メモリースティック PRO-HG デュオ"も使えます。
記録できる枚数/時間については、23、26ページをご覧ください。その他の"メモリースティック"や、メモリーカードは使えません。

"メモリースティック"

本機では使用できません。



"メモリースティック デュオ"を取り出す



アクセスランプが消えていることを確認して、"メモリースティック デュオ"を押す。

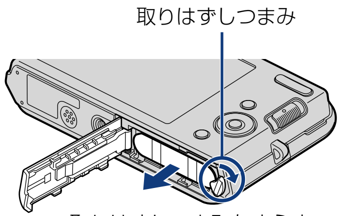
ご注意

- アクセスランプ点灯中は、"メモリースティック デュオ"/バッテリーを取り出さないでください。データが壊れることがあります。

"メモリースティック デュオ"を入れていないときは

本体に内蔵されているメモリー（約12MB)に画像が記録されます。
"メモリースティック デュオ"にコピーする場合は、本機に"メモリースティック デュオ"を入れ、MENUボタン→ (設定)→［"メモリースティック"ツール］→［コピー］を選びます。

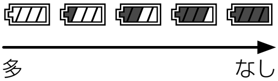
バッテリーを取り出す



取りはずしつまみをずらす。バッテリーが落下しないように注意する。

バッテリーの残量を確認する

液晶画面左上に、バッテリー残量を表すアイコンが表示されます。

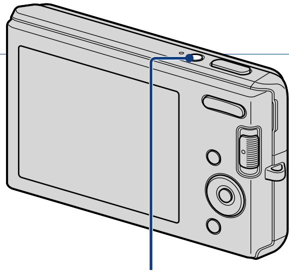


ご注意

- 正しい残量を表示するのに約1分かかります。
- 使用状況や環境によっては、正しく表示されません。
- 使用回数や経年変化により、バッテリー容量は低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、バッテリーの寿命です。新しいものをお買い上げください。
- 電源を入れたまま3分間操作しないと、自動で電源が切れます（オートパワーオフ機能）。

時計を合わせる

1 ON/OFF（電源）ボタンを押す。

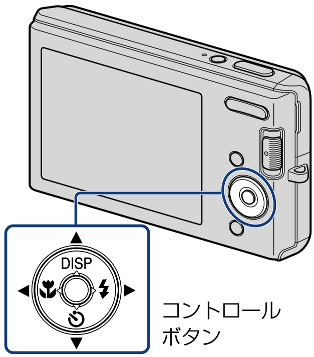


ON/OFF（電源）ボタン

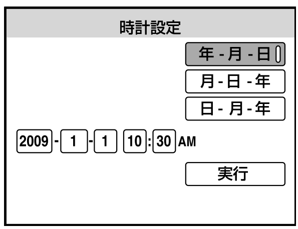
電源が入る。

- 電源を入れたとき、操作ができるまでに時間がかかることがある。

2 コントロールボタンの▲/▼で日付表示順を選び、中央の●を押す。



コントロールボタン



3 ▲/▼/◀/▶で数値を設定し、中央の●を押す。

- 真夜中は12:00AM、正午は12:00PMとなる。

4 [実行]を選び、中央の●を押す。

ご注意

- 本機には画像に日付を挿入する機能はありません。CD-ROM（付属）に収録されている「PMB」を使用すると、日付を入れて保存/印刷できます。

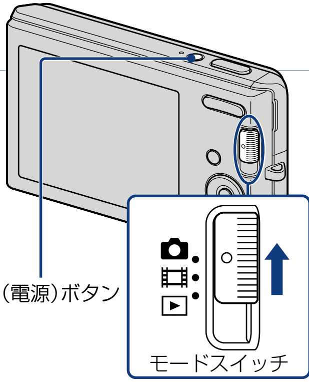
時計合わせをやり直す

MENUボタンを押して、(設定)から[時計設定]を選びます(43ページ)。

撮る

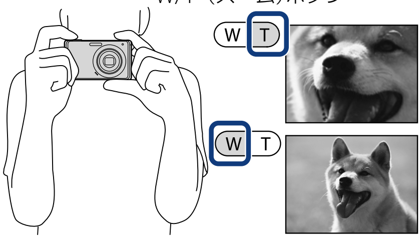
1 モードスイッチを（静止画）にして、ON/OFF（電源）ボタンを押す。

動画を撮影する場合は、モードスイッチを（動画）にする（25ページ）。



2 脇を締めて構え、構図を決める。

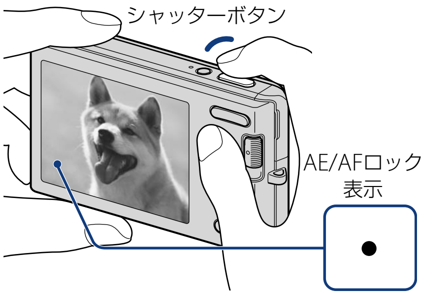
- W/T（ズーム）ボタンのTボタンを押すとズームし、Wボタンを押すと戻る。



3 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる。

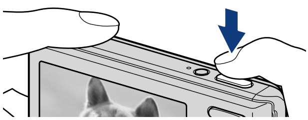
ピントが合うと「ピピッ」という音がして●が点灯する。

- ピントが合う最短距離はレンズ先端からW側約5cm、T側約40cm。



4 シャッターボタンを深く押し込む。

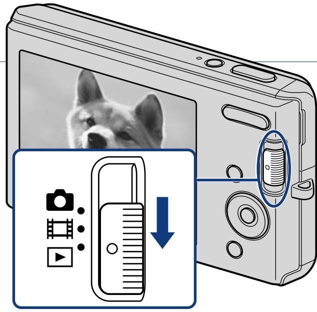
画像が撮影される。



見る

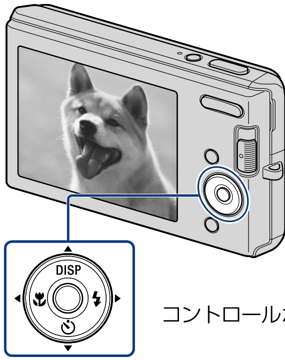
1　モードスイッチを▶(再生)にする。

最後に撮った画像が表示される。



次の画像/前の画像を選ぶ

コントロールボタンの▶（次）/◀（前）で選ぶ。

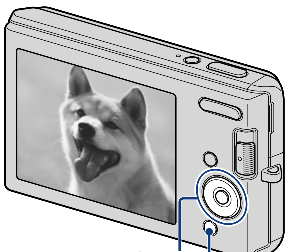


コントロールボタン

削除する

① 🗑(削除)ボタンを押す。

② コントロールボタンの◀/▶で[この画像]を選び中央の●を押す。



コントロールボタン

🗑(削除)ボタン

撮影に戻る

モードスイッチを📷(静止画)または🎞(動画)にする。

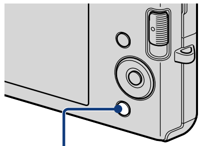
電源を切る

ON/OFF（電源)ボタンを押す。

笑顔を逃がさず撮る（スマイルシャッター）

1 モードスイッチを[camera icon]（静止画）にする。

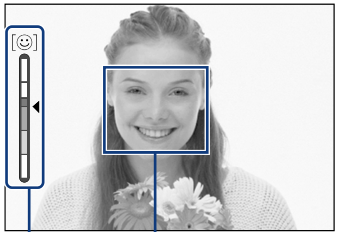
2 ☻（スマイル）ボタンを押す。



3 笑顔を待つ。

スマイルレベルがインジケーターの◀を超えると、自動で撮影される。もう一度☻（スマイル）ボタンを押すと、スマイルシャッターが終了する。

- スマイルシャッター中にシャッターボタンを押しても撮影できる。撮影後はスマイルシャッターに戻る。



検出されやすい笑顔のポイント



① 前髪が目にかからないようにする。

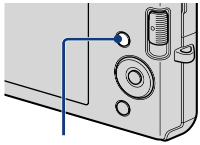
② カメラに対して正面を向き、なるべく水平になるようにする。目は細めにする。

③ 口を開けてしっかり笑う。歯が見えているほうが笑顔を検出しやすくなる。

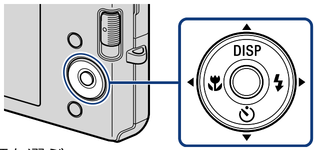
顔にピントを合わせて撮る（顔検出）

カメラが人物の顔を判別して、顔にピントを合わせます。ピント合わせの優先対象を設定できます。

1 MENUボタンを押す。



2 コントロールボタンの▲/▼/◀/▶で（顔検出）→ 好みのモード → 中央の●を押す。

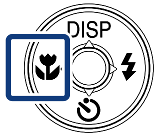


（オート）：カメラまかせでピント合わせする顔を選ぶ。
（切）：顔検出機能を使わない。

近くのものをきれいに撮る（マクロ）

虫や花など、小さいものを近くできれいに撮りたいときに使います。

1 **コントロールボタンの（マクロ）を繰り返し押して好みのモード → 中央の●を押す。**

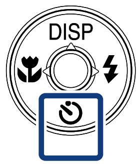


AUTO：遠景から近接まで自動でピントを合わせる。
通常はこのモードにする。

：近接する被写体を優先してピントを合わせる。
近くのものを撮る場合に使用する。

セルフタイマーを使う

1 **コントロールボタンの（セルフタイマー）を繰り返し押して好みのモード → 中央の●を押す。**



OFF：セルフタイマーを使わない。

10：10秒後に撮影。自分も一緒に写りたいときに使う。解除するにはもう一度を押す。

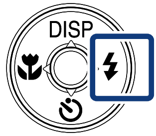
2：2秒後に撮影。シャッターボタンを押したときのブレが軽減できるため、手ブレが起こりにくくなる。

2 **シャッターボタンを押す。**

セルフタイマーランプが点滅して「ピッピッピッ」と操作音が鳴り、撮影が開始される。

フラッシュモードを選ぶ

1 コントロールボタンの⚡(フラッシュ)を繰り返し押して好みのモード → 中央の●を押す。



⚡AUTO：光量不足または逆光と判別したとき発光。

⚡：必ず発光する。

⚡SL：必ず発光する。暗い場所ではシャッタースピードを遅くし、フラッシュが届かない背景も明るく撮影。(スローシンクロ)

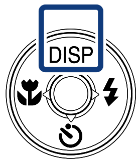
Ⓧ：発光しない。

ご注意

- 連写時はフラッシュ撮影できません。

画面の表示を変える

1 コントロールボタンのDISP(画面表示)を繰り返し押して好みのモードを選ぶ。



画面表示オン：画面を標準の明るさにして、情報を表示
画面表示オン*：画面を標準よりも明るくして、情報を表示
ヒストグラム表示オン*：画面を標準よりも明るくして、画面の明暗をグラフで表示
画面表示オフ*：画面を標準よりも明るくして、画像のみを表示
* バックライトが明るくなります。

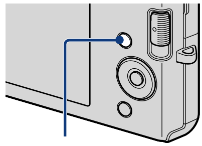
ヒストグラム、明るさの設定について

ヒストグラムは、画面の明るさを示すグラフです。グラフが右寄りなら明るめ、左寄りなら暗めの画像です。
画面を明るくすると明るい屋外でも見やすくなりますが、バッテリーの消費は早くなります。

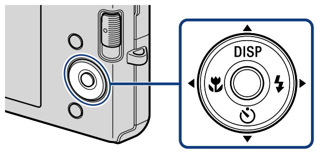
用途に合わせて画像のサイズを選ぶ

画像サイズは写真を記録するときの大きさのことです。
画像サイズが大きいほど、大きな用紙にも詳細にプリントできます。小さくすると、たくさん撮影できます。画像の楽しみかたによって見たいサイズを選びます。

1 MENUボタンを押す。



2 コントロールボタンの▲/▼/◀/▶で12M(画像サイズ) → 好みのサイズ → 中央の●を押す。



静止画画像サイズ	用途例	撮影可能枚数	プリント時
12M (4000 × 3000)	A3ノビサイズまでの印刷	少ない	精細
8M (3264 × 2448)	A3サイズまでの印刷	↕	↕
5M (2592 × 1944)	A4サイズまでの印刷	↕	↕
3M (2048 × 1536)	L/2L判までの印刷	↕	↕
VGA (640 × 480)	Eメールに添付	多い	粗い
3:2 (4000 × 2672)	写真の印画紙、ポストカード同様に3:2の縦横比で撮影	少ない	精細
16:9+ (4000 × 2248)	ハイビジョン対応テレビでの鑑賞	少ない	精細
16:9 (1920 × 1080)		多い	粗い

ご注意

- 16:9で撮影した画像は、プリント時に両端が切れることがあります。

記録可能枚数

（単位：枚）

容量 サイズ	内蔵メモリー	本機でフォーマットした"メモリースティック デュオ"						
	約12MB	256MB	512MB	1GB	2GB	4GB	8GB	16GB
12M	2	49	93	197	395	790	1600	3200
8M	3	72	140	288	580	1170	2350	4700
5M	4	90	170	350	710	1420	2900	5850
3M	7	148	293	600	1200	2400	4850	9800
VGA	60	1200	2360	4800	9650	19300	38600	77200
3:2(11M)	2	49	93	197	395	790	1600	3200
16:9(9M)	3	66	130	262	533	1060	2150	4300
16:9(2M)	11	230	450	900	1800	3700	7500	15000

ご注意

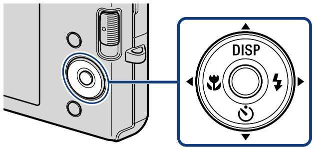
- 記録枚数は撮影状況および使用する記録メディアによって異なる場合があります。
- 静止画の記録可能枚数が9999枚より多いときは、「>9999」と表示されます。
- 他機で撮影した画像を再生すると、実際の画像サイズと異なって表示される場合があります。

場面に合った撮影モードを使う（シーンセレクション）

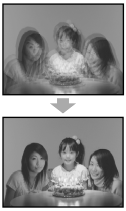
1 **モードスイッチを（静止画）にする。**

2 **MENUボタンを押す。**

3 **コントロールボタンの▲/▼/◀/▶で（カメラ）→ 好みのシーンセレクション → 中央の●を押す。**



（高感度）：暗いところでも、フラッシュを使わずにブレを軽減しながら撮影する。



（夜景＆人物）：夜景の雰囲気を損なわずに、手前の人物を際立たせた画像を撮影する。



（夜景）：暗い雰囲気を損なわずに、遠くの夜景を撮影する。



（ソフトスナップ）：人物や花などを、やさしい雰囲気で撮影する。



（ビーチ）：海や湖畔などの場所で撮影するとき、水の青さを鮮やかに記録する。



（風景）：遠景にピントを合わせ、青空や草木の色を鮮やかに撮影する。



（スノー）：雪景色などの画面全体が白くなるようなシーンで雰囲気を損なわずに撮影する。

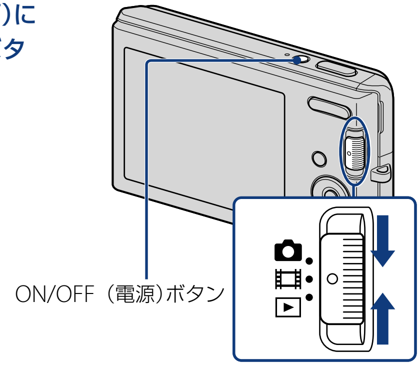


ご注意

• モードによっては、フラッシュ発光できなくなります。

動画を撮る

1 **モードスイッチを（動画）にして、ON/OFF（電源）ボタンを押す。**



2 **シャッターボタンを深押しして撮影を開始する。**

3 **もう一度シャッターボタンを深押しして終了する。**

動画を見る

① モードスイッチを▶（再生）にして、コントロールボタンの▶（次）/◀（前）で見たい動画を選ぶ。

② 中央の●を押す。

コントロールボタン	再生中にできること
●	一時停止
▶	早送り
◀	早戻し
▼	音量調節画面表示。◀/▶で音量調節。

記録可能時間

以下の表は、動画ファイルを合計したときの最大記録可能時間の目安です。画像サイズは320×240となります。

（単位：時：分：秒）

容量 / サイズ	内蔵メモリー	本機でフォーマットした“メモリースティック デュオ”						
	約12MB	256MB	512MB	1GB	2GB	4GB	8GB	16GB
320×240	0:00:20	0:10:10	0:20:20	0:41:20	1:23:40	2:45:00	5:35:00	11:18:00

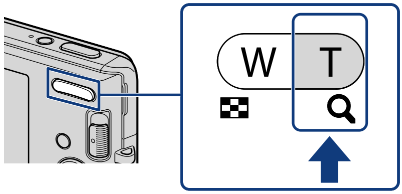
ご注意

- 記録時間は撮影状況および使用する記録メディアによって異なる場合があります。
- １つの動画ファイルは約2GBで制限されます。連続記録中のファイルサイズが約2GBになると、自動的に記録が止まります。
- 動画はHD対応していません。

拡大して見る（再生ズーム）

1 モードスイッチを▶（再生）にして画像を再生し、Q（再生ズーム）ボタンを押す。

画像中央を中心に、2倍に拡大される。



2 倍率や拡大位置を調整する。

Qボタン：倍率拡大
ズームボタンのW側：倍率縮小
コントロールボタンの▲/▼/◀/▶：ズーム位置変更

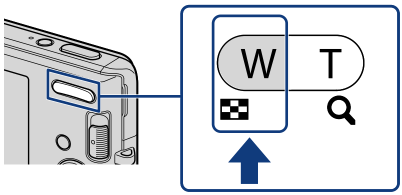


全体の中で現在表示されている部分

素早く探す（一覧表示）

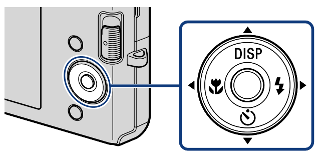
1 モードスイッチを▶（再生）にして画像を再生し、⊞（インデックス）ボタンを押す。

- ⊞（インデックス）ボタンをもう一度押すと、さらに細かい一覧表示画面になる。



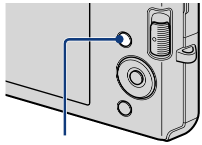
2 コントロールボタンの▲/▼/◀/▶で画像を選ぶ。

- コントロールボタン中央の●を押すと、1枚再生に戻る。

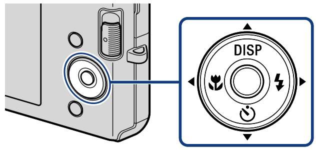


連続再生する（スライドショー）

1 **モードスイッチを▶（再生）にして画像を再生し、MENUボタンを押す。**



2 **コントロールボタンの▲/▼で⧉（スライドショー）を選び、中央の●を押す。**



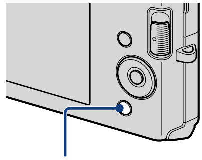
3 **▲で［実行］を選び、中央の●を押す。**

スライドショーが始まる。

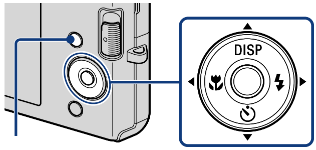
- スライドショーを終了するには、コントロールボタン中央の●を押す。

削除する

1 モードスイッチを▶(再生)にして画像を再生し、🗑(削除)ボタンを押す。



2 コントロールボタンの◀/▶で好みの設定を選ぶ。



🗑(この画像)：見ている画像を削除する。

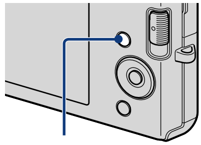
🗑(画像選択)：何枚か選んで削除する。
画像を選んで中央の●を押し、MENUを押して実行する。

🗑(フォルダ内全て)：フォルダ内すべての画像を削除する。

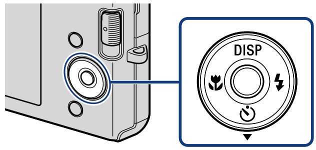
すべての画像を削除する(フォーマット)

"メモリースティック デュオ"が本機に入っている場合は"メモリースティック デュオ"のデータを、入っていない場合は内蔵メモリーのデータをすべて削除します。

1 MENUボタンを押す。



2 コントロールボタンの▼で 🧰(設定)を選び、中央の●を押す。



3 ▲/▼で[“メモリースティック”ツール]または[内蔵メモリーツール]→[フォーマット]→中央の●を押す。

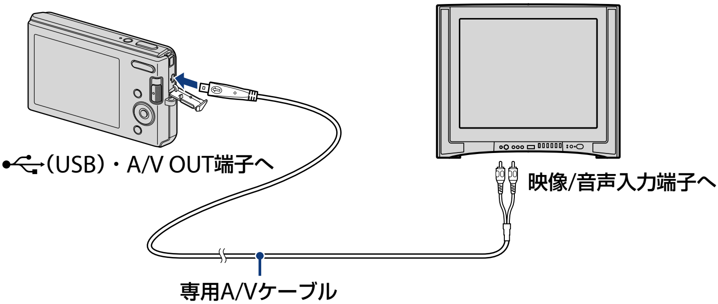
4 [実行]を選び、中央の●を押す。

ご注意

- フォーマットするとプロテクトしてある画像も含めて、すべてのデータが消去され、元に戻せません。

テレビで見る

1 本機とテレビを専用A/Vケーブル(付属)でつなぐ。



プリントする

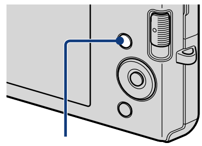
PictBridge対応プリンターをお持ちの場合は、以下の手順でプリントできます。
はじめに本機とプリンターをUSB接続するために、本機を設定します。

1 専用USBケーブル（付属）を使って、本機とプリンターを接続する。

2 本機とプリンターの電源を入れる。

接続が完了すると、画面にマークが表示される。

3 MENUボタン → コントロールボタンの▲/▼で（印刷）を選び中央の●を押す。



4 コントロールボタンの▲/▼で好みのモード → 中央の●を押す。

この画像：見ている画像を印刷する。

画像選択：コントロールボタンの◀/▶で画像を選び、中央の●を押す。

5 希望の設定項目を選び、[実行]を選んで中央の●を押す。

画像がプリントされる。

ご注意

- プリンターに接続できなかった場合は、（設定）の[USB接続]を[PictBridge]にしてください。

お店でプリントするには

内蔵メモリー内の画像は、直接カメラからプリントすることはできません。
“メモリースティック デュオ”にコピーしてプリントサービス店にお持ちください。

コピー方法：MENUボタン → （設定）→［“メモリースティック”ツール］→［コピー］→［実行］

その他詳しくはプリントサービス店にご相談ください。

画像に日付を入れるには

本機には画像に日付を挿入する機能はありません。プリント時に日付が重なってしまうことを防ぐためです。

お店でプリントする：

日付を挿入してプリントするよう依頼できます。詳しくはプリントサービス店にお問い合わせください。

自宅でプリントする：

PictBridge対応プリンターに接続し、再生メニュー → [印刷] → [日付]を[年月日]または[日時分]にします。

PMBで画像に日付を挿入する：

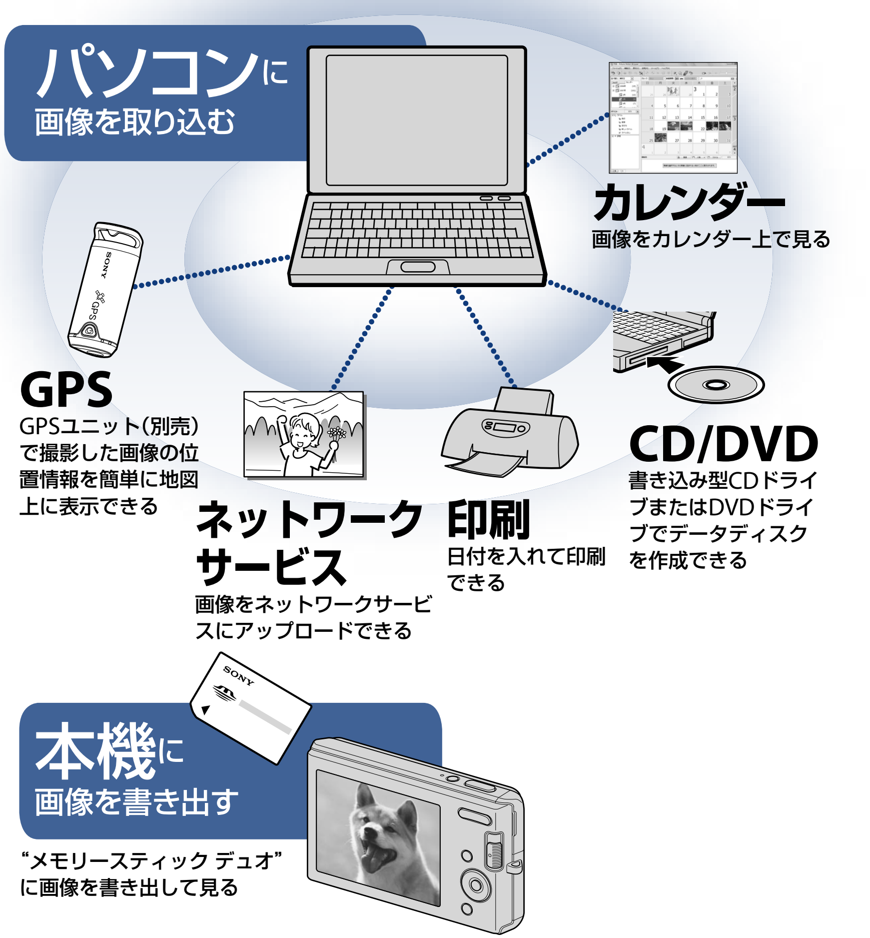
付属のソフトウェア「PMB」をパソコンにインストールして（35ページ）、画像に直接日付を挿入できます。日付挿入した画像をプリントすると、プリント設定によっては日付が重なってしまう場合があります。ご注意ください。「PMB」について詳しくは、「PMBガイド」（36ページ）をご覧ください。

パソコンで使う

「PMB (Picture Motion Browser)」で楽しむ

サイバーショットで撮影した画像をよりいっそうご活用いただくために、CD-ROM（付属）には「PMB」が収録されています。

下記の他にも、撮影した画像を楽しむ機能があります。詳しくは、「PMBガイド」をご覧ください（36ページ）。



ご注意

• 「PMB」は、Macintoshには対応していません。

操作1：「PMB」（付属）をインストールする

下記の手順で、ソフトウェア（付属）をインストールします。

• コンピュータの管理者権限でログオンしてください。

1 パソコンの環境を確認する。

「PMB」使用時の推奨環境

OS（工場出荷時にインストールされていること）：Microsoft Windows XP* SP3/ Windows Vista SP1

CPU：Intel Pentium Ⅲ 500 MHz以上（Intel Pentium III 800 MHz以上を推奨）

メモリ：256 MB以上（512 MB以上を推奨）

ハードディスク（インストール時に必要な容量）：約500 MB

ディスプレイ：1024×768ドット以上

ビデオメモリ：32 MB以上（64 MB以上を推奨）

* 64bit版は除きます。

2 パソコンの電源を入れ、CD-ROM（付属）をCD-ROMドライブに入れる。

インストール画面が表示される。

3 [インストール]をクリックする。

「言語の選択」画面が表示される。



4 画面の指示に従ってインストールを進める。

5 インストール後、パソコンからCD-ROMを取り出す。

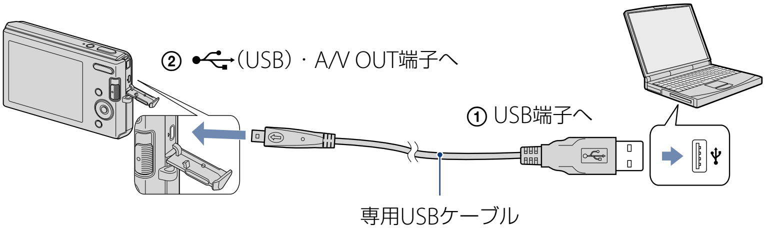
つないで楽しむ

操作2：「PMB」で画像をパソコンに取り込む

1 充分に充電したバッテリーを本機に入れ、ON/OFF（電源）ボタンを押す。

2 本機とパソコンをつなぐ。

本機の画面に「接続中」と表示される。



- 通信中は本機の画面に が表示されます。その間はパソコンの操作をしないでください。 USB が表示されたら操作できます。

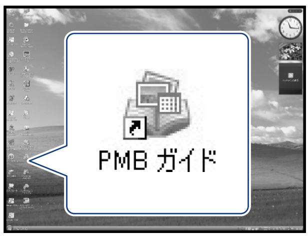
3 [取り込み開始]をクリックする。

その他詳しくは、「PMBガイド」をご覧ください。

操作3：「PMBガイド」を見る

1 デスクトップ上の（PMBガイド）をダブルクリックする。

- スタートメニューから起動するときは、[スタート] → [すべてのプログラム] → [Sony Picture Utility] → [ヘルプ] → [PMBガイド]の順にクリックする。



ご注意

- カメラの動作中やアクセス中の画面が表示されている場合、カメラ本体から専用USBケーブルをはずしたりしないでください。データが壊れることがあります。
- 残量の少ないバッテリーを使用すると、データを転送できなかったり、データが壊れることがあります。ACアダプター（別売）のご使用をおすすめします。

「Macintosh」で使う

Macintoshに画像を取り込むことができます。ただし、「PMB」は対応していません。

パソコンの推奨環境

本機とつなぐパソコンは、下記の推奨環境が必要です。

画像を取り込む時の推奨環境

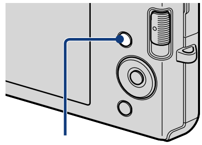
OS（工場出荷時にインストールされていること）：Mac OS 9.1/9.2/Mac OS X（v10.1 ～ v10.5）

USB端子：標準装備

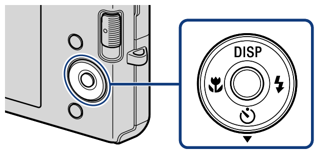
操作音を変える

本機を操作したときに鳴るブザーを設定します。

1 **MENUボタンを押す。**



2 **コントロールボタンの▼で🧰（設定）を選び、中央の●を押す。**



3 **▲/▼で［本体設定］を選び、［操作音］ → 中央の●を押す。**

4 **▲/▼で好みのモードを選び中央の●を押す。**

シャッター：シャッターボタンを押したときのみ、シャッター音が鳴る。

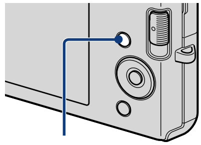
入：コントロールボタン/シャッターボタンを押したときなどに、ブザー /シャッター音が鳴る。

切：音は鳴らない。

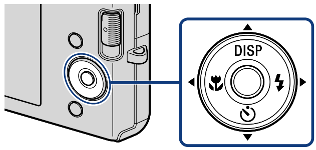
MENUにある機能を使う

撮影中・再生中に見えている画面に対して使える機能を表示して、手軽に設定できます。本機の画面には、それぞれのモードで設定できる項目のみが表示されます。
お買いあげ時の状態に戻すには、(設定) → [本体設定] → [設定リセット]で戻せます。

1 MENUボタンを押して、メニュー画面を表示する。



2 コントロールボタンの▲/▼/◀/▶で項目を選ぶ。再生時は、中央の●を押して決定する。



3 MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。

撮影時のMENU

項目	説明
カメラ	カメラモードを設定する。 (AUTO オート撮影/PGM プログラムオート撮影/ISO 高感度/ ソフトスナップ/ 風景/ 夜景+人物/ 夜景/ ビーチ/ スノー)
画像サイズ	画像サイズを設定する。 (12M/8M/5M/3M/VGA/3:2/16:9+/16:9)
手ブレ補正	手ブレ補正の種類を設定する。 (OFF切/AUTOオート)
撮影モード	連写を設定する。 (通常撮影/ 連写)
明るさ(EV補正)	露出を手動調整する。 (−2.0 EV ～ +2.0 EV)
ISO	ISO感度を設定する。 (オート/ISO 100 ～ ISO 3200)

項目	説明
色合い（ホワイトバランス）	撮影場所の光の状況に合わせて画像の色合いを調整する。 （AUTO オート/太陽光/曇天/蛍光灯1、蛍光灯2、蛍光灯3/電球/フラッシュ）
フォーカス	ピント合わせの方法を変更する。 （マルチAF/中央重点AF/0.5 m/1.0 m/3.0 m/7.0 m/∞）
測光モード	画面のどの部分で光を測るか（測光）を設定する。 （マルチ/中央重点/スポット）
スマイル検出感度	笑顔を検出する感度を設定する。 （（低）/（中）/（高））
顔検出	顔検出機能を設定する。 （オート/切）
フラッシュレベル	フラッシュの発光量を調整する。 （–/標準/+）
赤目軽減	赤目軽減機能を設定する。 （オート/入/切）
カラーモード	画像の鮮やかさを変えたり、特殊効果を加えて撮影する。 （標準/セピア/モノトーン）
（設定）	本機の設定を変更する。

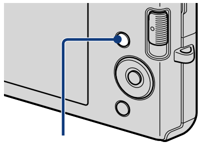
再生時のMENU

項目	説明
(スライドショー)	効果をつけて画像を連続再生する。
(加工)	画像に特殊な加工をする。 (トリミング/赤目補正)
(マルチリサイズ)	用途に合わせて画像サイズを変更する。 (ハイビジョン対応テレビ/ブログ/Eメール)
(プロテクト)	画像を誤って消さないように保護(プロテクト)する。 (この画像/画像選択)
DPOF	"メモリースティック デュオ"の画像にプリント予約マークを付ける。 (DPOFこの画像/DPOF画像選択)
(印刷)	PictBridge対応プリンターを接続して印刷する。
(回転)	静止画を左右に回転する。
(再生フォルダ選択)	再生したい画像の入っているフォルダを選択する。
(設定)	本機の設定を変更する。

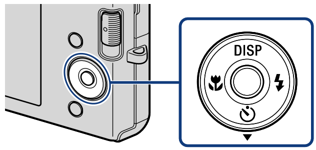
(設定)にある機能を使う

本機のお買いあげ時の設定を変更できます。

1 **MENUボタンを押して、メニュー画面を表示する。**



2 **コントロールボタンの▼で(設定)を選び、中央の●を押して決定する。**



3 **▲/▼/◀/▶で項目を選び、中央の●を押す。**

4 **MENUボタンを押して、設定画面を消す。**

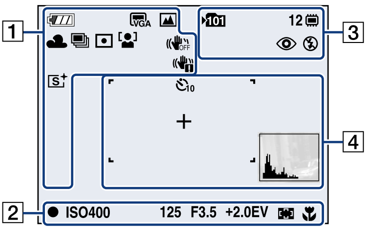
カテゴリー	項目	説明
本体設定	操作音	本機を操作したときに鳴るブザーを変更したり、消したりする。
	USB接続	パソコンまたはPictBridge対応プリンターを専用USBケーブルで接続するときのモードを設定する。
	ビデオ信号出力	接続するビデオ機器のカラーテレビ方式に合わせて設定する。
	設定リセット	お買い上げ時の設定に戻す。
撮影設定	グリッドライン	グリッドラインを画面に表示するかどうかを設定する。
	デジタルズーム	デジタルズームの設定をする。
	オートレビュー	静止画撮影直後に、記録した画像を約2秒間画面に表示する。

カテゴリー	項目	説明
“メモリースティック”ツール	フォーマット	“メモリースティック デュオ”をフォーマット(初期化)する。
	記録フォルダ作成	“メモリースティック デュオ”の中に新しいフォルダを作成する。
	記録フォルダ変更	画像を記録するフォルダを変更する。
	コピー	内蔵メモリーに記録した画像を、“メモリースティック デュオ”に一括コピーする。
内蔵メモリーツール	フォーマット	内蔵メモリーをフォーマット(初期化)します。
時計設定	時計設定	時計、日付の設定をする。
表示言語	表示言語	本機は日本語のみに対応しています。その他の言語には変更できません。

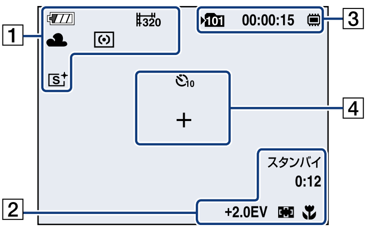
画面に表示されるアイコン一覧

画面には、カメラの状態を表すアイコンが出ます。コントロールボタンのDISP（画面表示）で、液晶画面の表示が切り換わります（21ページ）。

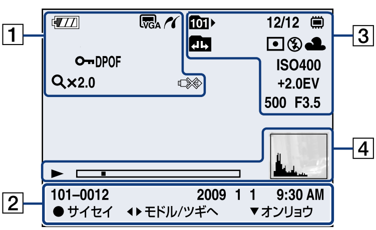
静止画撮影時



動画撮影時



再生時



1

	バッテリー残量
	バッテリープリエンド
12M 8M 5M 3M VGA 3:2 16:9+ 16:9 320	画像サイズ
ISO	カメラモード(シーンセレクション)
P	カメラモード(プログラムオート撮影)
1 2 3 WB	色合い(ホワイトバランス)
	連写モード
	測光モード
	顔検出
ON OFF	手ブレ補正
	手ブレ警告
	スマイル検出感度インジケーター
W T ×1.4 ×2.0 s p	ズーム
	カラーモード
	PictBridge接続
	プロテクト
DPOF	プリント予約
VOL.	音量
	PictBridge接続中

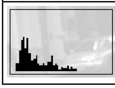
2

●	AE/AFロック
録画 スタンバイ	動画撮影/スタンバイ
ISO400	ISO感度
125	シャッタースピード
F3.5	絞り値
+2.0EV	明るさ（露出補正）
0:12	記録時間（分：秒）
	AF測距枠表示
1.0m	セミマニュアル値
	マクロ
00:00:12	カウンター
101-0012	フォルダ-ファイル番号
2009 1 1 9:30 AM	画像の記録日時
● テイシ ● サイセイ	再生時の操作ガイド
◀▶ モドル/ ツギヘ	前後の画像を表示
▼ オンリョウ	音量調節

3

101	記録フォルダ
12	記録可能枚数
	記録/再生メディア （“メモリースティック デュオ”、内蔵メモリー）
00:00:15	記録可能時間
	赤目軽減
SL	フラッシュモード
	フラッシュ充電中
101	再生フォルダ
12/12	画像番号/再生フォルダ内 画像枚数
	フォルダ移動
	測光モード
AWB 1 2 3 WB	ホワイトバランス
ISO400	ISO感度
+2.0EV	露出補正値
500	シャッタースピード
F3.5	絞り値

4

10 2	セルフタイマー
+	スポット測光照準
	AF測距枠
►	再生
	再生バー
	ヒストグラム • 表示不能のときは⊗が表示されます。

もっと詳しく知りたい(サイバーショットハンドブック)

「サイバーショットハンドブック」は、CD-ROM（付属）に収録されています。さらに詳しい説明を知りたいときに、ご覧ください。

- 「サイバーショットハンドブック」を見るには、Adobe Reader が必要です。インターネットから無償でダウンロードできます。
  http://www.adobe.co.jp

Windowsをお使いの場合

1 パソコンの電源を入れ、CD-ROM（付属）をCD-ROMドライブに入れる。

2 「サイバーショットハンドブック」をクリックする。

本機をよりよく使うためにアクセサリーの紹介をしている「サイバーショットステップアップガイド」も同時にインストールされる。



3 デスクトップ上のショートカットから起動する。

Macintoshをお使いの場合

1 パソコンの電源を入れ、CD-ROM（付属）をCD-ROMドライブに入れる。

2 [Handbook] - [JP]の順に選び、[JP]フォルダ内の“Handbook.pdf”をパソコンにコピーする。

3 コピーが完了したら、“Handbook.pdf”をダブルクリックする。

故障かな？と思ったら

困ったときは、下記の流れに従ってください。

❶ **以下の項目をチェックする。また、「サイバーショットハンドブック（PDF）」も参照し、本機を点検する。**

▼

❷ **バッテリーを取りはずし、約1分後再びバッテリーを入れ、本機の電源を入れる。**

▼

❸ **設定リセットをする（42ページ）。**

▼

❹ **サイバーショットオフィシャルWEBサイトで確認する。**
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

▼

❺ **ソニーの相談窓口に電話で問い合わせる（裏表紙）。**

- **内蔵メモリーを搭載した機種の修理において、不具合症状の発生/改善の確認のために必要最小限の範囲でデータを確認させていただく場合があります。**
  ただし、それらのデータをソニー側で複製/保存することはありません。 あらかじめご了承ください。

バッテリー・電源

本機にバッテリーを入れられない。

- バッテリー取りはずしつまみを押しながら、正しい向きに入れてください（11ページ）。

電源が入らない。

- 本機にバッテリーを取り付けた後、電源が入るまでに時間がかかることがあります。
- バッテリーが正しく取り付けられているか確認してください（11ページ）。
- バッテリーが消耗しています。充電されたバッテリーを取り付けてください（9ページ）。
- バッテリーの寿命です。新しいバッテリーと交換してください。
- 推奨バッテリーをお使いください。

電源が切れる。

- 本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために、自動的に電源が切れることがあります。この場合は、電源が切れる前に画面にメッセージが表示されます。
- 操作しない状態が3分以上続くと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。電源を入れ直してください（14ページ）。
- バッテリーの寿命です。新しいバッテリーと交換してください。

バッテリーの残量表示が正しくない。

- 以下の場合はバッテリー消費が早くなり、残量は表示よりも少なくなります。
  - 温度が極端に高い、または低いところで使用している。
  - フラッシュ、ズームを多用している。
  - 電源の入・切を繰り返している。
  - DISP（画面表示）設定で画面を明るくしている。
- バッテリーが消耗しています。充電されたバッテリーを取り付けてください（9ページ）。
- バッテリーの寿命です。新しいバッテリーと交換してください。

バッテリーを本体に入れた状態で充電できない。

- ACアダプター（別売）を使っての充電はできません。バッテリーチャージャー（付属）を使って充電してください。

バッテリー充電中、CHARGEランプが点滅する。

- バッテリーを取りはずし、もう一度同じバッテリーを確実に取り付ける。
- 充電に適した温度範囲（10℃～30℃）で充電してください。

撮影

撮影できない。

- 内蔵メモリーまたは"メモリースティック デュオ"の空き容量を確認してください（23、26ページ）。いっぱいのときは、下記のいずれかを行ってください。
  - 不要な画像を削除してください（29ページ）。
  - "メモリースティック デュオ"を交換してください。
- フラッシュ充電中は撮影できません。
- 静止画撮影時は、モードスイッチを📷（静止画）にしてください。
- 動画撮影時は、モードスイッチを🎞（動画）にしてください。

明るい被写体を写すと、白や黒、赤、紫などの縦線が出たり、画面全体が赤みがかったような画像になる。

- スミアという現象です。故障ではありません。

再生

再生できない。

- モードスイッチを▶（再生）にしてください（17ページ）。
- パソコンでフォルダ/ファイルの名前を変更したためです。
- パソコンで画像を加工したファイルや他機で撮影した画像は、本機での再生は保証いたしません。
- USBモードになっています。USB接続を終了してください。

使用上のご注意

使用/保管してはいけない場所

- 異常に高温、低温、または多湿になる場所
  炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近く
  変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動のある場所
- 強力な磁気のある場所
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

持ち運びについて

ズボンやスカートの後ろポケットに本機を入れたまま、椅子などに座らないでください。故障や破損の原因になります。

お手入れについて

液晶画面をきれいにする

液晶画面に指紋やゴミが付いて汚れたときは、液晶クリーニングキット(別売)を使ってきれいにすることをおすすめします。

レンズをきれいにする

レンズに指紋やゴミが付いて汚れたときは、柔らかい布などを使ってきれいにすることをおすすめします。

表面をきれいにする

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下はご使用にならないでください。

- シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、日焼け止め、殺虫剤のような化学薬品類
- 上記が手についたまま本機を扱うこと
- ゴムやビニール製品との長時間の接触

動作温度にご注意ください

本機の動作温度は約0 ℃～ 40 ℃です。動作温度範囲を越える極端に寒い場所や暑い場所での撮影はおすすめできません。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因になります。

結露が起きたときは

電源を切って結露がなくなるまで約1時間放置し、結露がなくなってからご使用ください。特にレンズの内側に付いた結露が残ったまま撮影すると、きれいな画像を記録できませんのでご注意ください。

内蔵の充電式バックアップ電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切に関係なく保持するために充電式電池を内蔵しています。
充電式電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し1か月程度まったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使用してください。
ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使うことができます。

内蔵の充電式バックアップ電池の充電方法

本機に充電されたバッテリーを入れて、電源を切ったまま24時間以上放置する。

"メモリースティック デュオ"を廃棄/譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、"メモリースティック デュオ"内のデータは完全には消去されないことがあります。
"メモリースティック デュオ"を譲渡するときは、パソコンのデータ消去専用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。また、"メモリースティック デュオ"を廃棄するときは、"メモリースティック デュオ"本体を物理的に破壊することをおすすめします。

安全のために

2ページもあわせてお読みください。

警告　火災　感電

下記の注意事項を守らないと、**火災**、**大けが**や**死亡**にいたる危害が発生することがあります。

分解や改造をしない

分解禁止

火災や感電の原因となります。内部点検や修理はソニーの相談窓口にご依頼ください。

内部に水や異物（金属類や燃えやすい物など）を入れない

禁止

火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り出してください。ACアダプターやバッテリーチャージャーなどもコンセントから抜いて、ソニーの相談窓口にご相談ください。

運転中に使用しない

禁止

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、液晶画面を見ることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。

撮影時は周囲の状況に注意をはらう

禁止

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。

指定以外の電池、ACアダプター、バッテリーチャージャーを使わない

禁止

火災やけがの原因となることがあります。

機器本体や付属品、記録メディアは乳幼児の手の届く場所に置かない

禁止

電池などの付属品や、"メモリースティック"などを飲みこむおそれがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。万一飲みこんだ場合は、直ちに医師に相談してください。

電池やショルダーベルト、ストラップを正しく取り付ける

指示

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。
また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。

電源コードを傷つけない

禁止

熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。また、電源コードを抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずプラグを持って抜いてください。

可燃性/爆発性ガスのある場所でフラッシュを使用しない

禁止

フラッシュ、AFイルミネーターなどの撮影補助光を至近距離で人に向けない

禁止

- 至近距離で使用すると視力障害を起こす可能性があります。特に乳幼児を撮影するときは、1m以上はなれてください。
- 運転者に向かって使用すると、目がくらみ、事故を起こす原因となります。

注意 火災 感電

下記の注意事項を守らないと、**けが**や**財産に損害**を与えることがあります。

水滴のかかる場所など湿気の多い場所やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

禁止

火災や感電の原因になることがあります。

ぬれた手で使用しない

ぬれ手禁止

感電の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

禁止

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

コード類は正しく配置する

指示

電源コードやパソコン接続ケーブル、A/V接続ケーブルなどは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。

通電中のACアダプター、バッテリーチャージャー、充電中の電池や製品に長時間ふれない

禁止

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

使用中は機器を布で覆ったりしない

禁止

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源をはずす

プラグをコンセントから抜く

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントからはずしたり、電池を本体からはずして保管してください。火災の原因となることがあります。

フラッシュの発光部を手でさわらない

禁止

フラッシュ発光部を手で覆ったまま発光しないでください。発光後も発光部に手を触れないでください。やけどの原因となります。

レンズや液晶画面に衝撃を与えない

禁止

レンズや液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

電池や付属品、記録メディア、アクセサリーなどを取りはずすときは、手をそえる

指示

電池や"メモリースティック"などが飛び出すことがあり、けがの原因となることがあります。

⚠危険 電池についての安全上のご注意とお願い

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがややけど、火災などを避けるため、下記の注意事項をよくお読みください。

⚠危険

禁止

- 乾電池型充電式電池・バッテリーパックは指定されたバッテリーチャージャー以外で充電しない。
- 電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオーブンで加熱しない。
- 電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しない。このような場所で充電しない。
- 電池をコインやヘアーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体でぬらさない。ぬれた電池を充電したり、使用したりしない。

⚠警告

禁止

- 電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させたりするなどの衝撃や力を与えない。
- バッテリーパックが変形・破損した場合は使用しない。
- アルカリ電池/ニッケルマンガン電池は充電しない。
- 外装シールをはがしたり、傷つけたりしない。外装シールの一部または、すべてをはがしてある電池や破れのある電池は絶対に使用しない。

⚠注意

指示

- 電池は、+、–を確かめ、正しく入れる。

禁止

- 電池を使い切ったときや、長期間使用しない場合は機器から取り出しておく。

お願い

リチウムイオン電池はリサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ち下さい。

Li-ion
リチウムイオン電池

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、有限責任中間法人JBRCホームページ
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html
を参照して下さい。

保証書とアフターサービス

記録内容の補償はできません

万一、デジタルスチルカメラや"メモリースティック デュオ"などの不具合などにより記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています

このデジタルスチルカメラは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

"故障かな?と思ったら"の項を参考にして故障かどうかお調べください。それでも具合の悪いときはソニーの相談窓口にご相談ください(裏表紙)。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の交換について

この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

部品の保有期間について

当社はデジタルスチルカメラの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後5年間保有しています。この部品保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、ソニーの相談窓口にご相談ください(裏表紙)。

修理をお受けになる前に

内蔵メモリーのバックアップをお取りください。修理によってデータが消去または変更された場合、記録内容の保障についてはご容赦ください。

主な仕様

本体

[システム]

撮像素子：7.79 mm（1/2.3型）カラー CCD原色フィルター
総画素数：約1240万画素
カメラ有効画素数：約1210万画素
レンズ：3倍ズームレンズf=6.2 mm ～ 18.6 mm（35 mm～ 105 mm（35 mmフィルム換算値））、F3.1（W）～ 5.6（T）
露出制御：自動、シーンセレクション（7モード）
ホワイトバランス：オート、太陽光、曇天、蛍光灯1、2、3、電球、フラッシュ
連続撮影間隔：約1秒
記録方式：
静止画：JPEG（DCF Ver. 2.0、Exif Ver. 2.21、MPF Baseline）準拠、DPOF対応
動画：AVI (Motion JPEG)
記録メディア：内蔵メモリー 約12 MB、"メモリースティック デュオ"
フラッシュ：撮影範囲（ISO感度（推奨露光指数）がオートのとき）
約0.5 m～ 3.0 m（W）/約0.5 m～ 1.5 m（T）

[入出力端子]

•⇠(USB)・A/V OUT端子
映像出力
音声出力（モノラル）
USB通信
USB通信：Hi-Speed USB（USB 2.0準拠）

[液晶画面]

液晶パネル：6.7 cm（2.7型）、TFT駆動
総ドット数：230 400（960×240）ドット

[電源・その他]

電源：リチャージャブルバッテリーパック
NP-BK1、3.6 V
ACアダプター AC-LS5（別売）、4.2 V
消費電力（撮影時）：1.2 W
動作温度：0 ℃～ 40 ℃
保存温度：－20 ℃～ +60 ℃
外形寸法：93.4×54.5×18.7 mm（幅×高さ×奥行き、突起部を除く）
本体質量（バッテリー NP-BK1、"メモリースティック デュオ"を含む）：約140 g
マイクロホン：モノラル
スピーカー：モノラル
Exif Print：対応
PRINT Image Matching III：対応
PictBridge：対応

バッテリーチャージャー BC-CSKA

定格入力：AC 100 V ～ 240 V、50 Hz/60 Hz、2.3 W
定格出力：DC4.2 V、0.30 A
動作温度：0 ℃～ 40 ℃
保存温度：－20 ℃～＋60 ℃
外形寸法：約62×24×91 mm（幅×高さ×奥行き）
本体質量：約70 g

リチャージャブルバッテリーパック NP-BK1

使用電池：リチウムイオン蓄電池
最大電圧：DC 4.2 V
公称電圧：DC 3.6 V
容量：3.4 Wh（970 mAh）

本機や付属品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

商標について

- 以下はソニー株式会社の商標です。
  Cyber-shot、"サイバーショット"、"Memory Stick"、"メモリースティック"、MEMORY STICK ™、"Memory Stick PRO"、"メモリースティック PRO"、MEMORY STICK PRO、"Memory Stick Duo"、"メモリースティックデュオ"、MEMORY STICK DUO、"Memory Stick PRO Duo"、"メモリースティック PRO デュオ"、MEMORY STICK PRO DUO、"Memory Stick PRO-HG Duo"、"メモリースティックPRO-HG デュオ"、MEMORY STICK PRO-HG DUO、"メモリースティックマイクロ"、"MagicGate"、"マジックゲート"、MAGICGATE
- Microsoft、Windows、DirectX、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac OSはApple Inc.の登録商標または商標です。
- Intel、MMX、PentiumはIntel Corporationの登録商標または商標です。
- Adobe、Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していません。

■困ったときは（サポートのご案内）

ホームページで調べる

サイバーショットの最新サポート情報
（製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法など）
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

サイバーショットオフィシャルWEBサイト
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/

サイバーショットの最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。英語の取扱説明書のダウンロードもできます。
(English manual download service is available.)

"メモリースティック"対応表
使用可能な"メモリースティック"を確認できます。
また、その他の"メモリースティック"に関する情報も確認できます。
http://www.sony.co.jp/mstaiou/

付属ソフトウェアのサポート情報
http://www.sony.co.jp/support-disoft/

電話で問い合わせる（ソニーの相談窓口）

● 使い方相談窓口
フリーダイヤル……………………0120-333-020
携帯・PHS・一部のIP電話……………0466-31-2511
上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「401」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

● 修理相談窓口
フリーダイヤル……………………0120-222-330
携帯・PHS・一部のIP電話……………0466-31-2531
上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「401」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ホームページ　http://www.sony.co.jp/di-repair/

FAX（共通）:0120-333-389
受付時間:月～金 9:00 ～ 20:00　土･日･祝日 9:00 ～ 17:00

■カスタマー登録のご案内

サイバーショット カスタマー登録

カスタマー登録していただくと、安心・便利な各種サポートが受けられます。詳しくは、同梱のチラシ「カスタマー登録のご案内」またはWEBサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-usbregi/

カスタマー登録の特典については下記のURLをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-tokuten/

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1　http://www.sony.co.jp/

この説明書は、古紙70%以上の再生紙と、VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in China

4143378030